

国立大学法人東京農工大学学部における教育研究上の目的に関する規程の一部改正

国立大学法人東京農工大学学部における教育研究上の目的に関する規程を次のとおり改正する。

現行	改正	備考																								
<p>国立大学法人東京農工大学学部における教育研究上の目的に関する規程 平成20年4月1日 20教規程第6号</p> <p>(目的) 第1条 この規程は、国立大学法人東京農工大学学則第82条第2項の規定に基づき、国立大学法人東京農工大学（以下、「本学」という。）農学部及び工学部の各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を明確にする。 (農学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的) 第2条 農学部においては、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに専門の学芸を教授し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させて優れた能力を有する人材を養成することを目的とし、各学科については、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="165 817 1014 1228"> <thead> <tr> <th>学科名</th> <th>人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生物生産学科</td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>応用生物科学科</td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>環境資源科学科</td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>地域生態システム学科</td> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>獣医学科</td> <td>動物の疾病の治療や予防、生命科学、安全な動物性食品の確保など、多岐にわたる分野で社会に貢献できる優れた人材を養成する。この目的を達成するため、前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。</td> </tr> </tbody> </table>	学科名	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	生物生産学科	省略	応用生物科学科	省略	環境資源科学科	省略	地域生態システム学科	省略	獣医学科	動物の疾病の治療や予防、生命科学、安全な動物性食品の確保など、多岐にわたる分野で社会に貢献できる優れた人材を養成する。この目的を達成するため、前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。	<p>(目的) 第1条 省略（現行どおり）</p> <p>(農学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的) 第2条 省略（現行どおり）</p> <table border="1" data-bbox="1050 817 1899 1378"> <thead> <tr> <th>学科名</th> <th>人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生物生産学科</td> <td>省略（現行どおり）</td> </tr> <tr> <td>応用生物科学科</td> <td>省略（現行どおり）</td> </tr> <tr> <td>環境資源科学科</td> <td>省略（現行どおり）</td> </tr> <tr> <td>地域生態システム学科</td> <td>省略（現行どおり）</td> </tr> <tr> <td>共同獣医学科</td> <td>岩手大学との共同教育課程として、「人類と動物の健康と福祉に貢献する」ことを理念に掲げ、両大学が持つ教育資源の活用とスケールメリットを活かした教育体系を確立し、動物の疾病の予防・治療、生命科学、公衆衛生、感染症防疫、食品安全など、多岐にわたる分野において高度な専門知識及び技術と、高い倫理性を兼ね備えた、国際的に通用する人材を育成する。この目的を達成するため、前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。</td> </tr> </tbody> </table>	学科名	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	生物生産学科	省略（現行どおり）	応用生物科学科	省略（現行どおり）	環境資源科学科	省略（現行どおり）	地域生態システム学科	省略（現行どおり）	共同獣医学科	岩手大学との共同教育課程として、「人類と動物の健康と福祉に貢献する」ことを理念に掲げ、両大学が持つ教育資源の活用とスケールメリットを活かした教育体系を確立し、動物の疾病の予防・治療、生命科学、公衆衛生、感染症防疫、食品安全など、多岐にわたる分野において高度な専門知識及び技術と、高い倫理性を兼ね備えた、国際的に通用する人材を育成する。この目的を達成するため、前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。	
学科名	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的																									
生物生産学科	省略																									
応用生物科学科	省略																									
環境資源科学科	省略																									
地域生態システム学科	省略																									
獣医学科	動物の疾病の治療や予防、生命科学、安全な動物性食品の確保など、多岐にわたる分野で社会に貢献できる優れた人材を養成する。この目的を達成するため、前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。																									
学科名	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的																									
生物生産学科	省略（現行どおり）																									
応用生物科学科	省略（現行どおり）																									
環境資源科学科	省略（現行どおり）																									
地域生態システム学科	省略（現行どおり）																									
共同獣医学科	岩手大学との共同教育課程として、「人類と動物の健康と福祉に貢献する」ことを理念に掲げ、両大学が持つ教育資源の活用とスケールメリットを活かした教育体系を確立し、動物の疾病の予防・治療、生命科学、公衆衛生、感染症防疫、食品安全など、多岐にわたる分野において高度な専門知識及び技術と、高い倫理性を兼ね備えた、国際的に通用する人材を育成する。この目的を達成するため、前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。																									

第3条 省略 附 則 省略	第3条 省略 附 則 省略（現行どおり）	
----------------------	-----------------------------	--

附 則（23教規程第52号）

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日現在在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。